

転落等（子ども）編

「転落」等によるケガは、全年齢層で多く発生しており、子ども（0～6歳）では、「転倒」に次いで2番目に多く発生しています。

また、発生場所で見ると、自宅での発生が約8割を占めており、安全のはずの自宅にも危険はたくさん潜んでいます。

加古川市消防本部で実際にあった事故です ↓ ↓ ↓

- ・椅子から転落した。（1歳女児、顔面打撲）
- ・ベッドから転落し、右肘を打撲した。（5歳男児、上腕骨骨折）
- ・ベビーベッドから転落した。（9か月女児、頭部外傷）
- ・階段から転落し、頭部を打撲した。（2歳男児、頭部外傷）
- ・階段の踊り場から転落した。（1歳女児、全身打撲）



予防のポイント

★ベビーベッドには必ず柵をしましょう！

寝返りのほか、柵を乗り越えて転落することもあるので、柵は常に上げておきましょう。

★階段に柵を設置しましょう！

子ども一人で上り下りしないよう注意しましょう。

★子どもが登れるものを置かない！

窓際やベランダなどに踏み台になりそうなものは置かないようにしましょう。

★子どもから目を離さない！

子どもは成長とともに行動が活発になってきて行動範囲も広がるので、子どもの行動には注意しましょう。

